



通学路に咲いている梅の花。実習生の間では、「白い桜」と話題になっています。

3月に入り、寒さもようやく和らぎ始め、実習生の皆さんから「さむいです」との声が、徐々に聞こえてこなくなってきました。昨年11月から続けている「青空ラジオ体操」も、無事、冬の寒さを乗り越えることができました。それでも、春の温かい日差しを感じられるようになるには、もう少し辛抱が必要なようです。春は、日本では出会いと別れの季節。アジ研では、毎日のように実習生との出会いと別れが繰り返されていますが、「一期一会」の思いで、実習生の皆さんと限られた時間を無駄にすることなく、日本語教育を通して、これからも実習生の皆さんの技能実習での活躍をサポートしていきたいと思ひます。

## あじけんスコープ Vol.40 ～新スタッフ紹介～



今回は、本校の新スタッフ CAO THI HAN (ハンさん) さんを紹介させていただきます。ハンさんは、あじ研に入寮中のベトナム人実習生への生活支援や、ベトナム語通訳を担当する職員として、昨年11月から新たにスタッフに仲間入りしました。アジ研での勤務は、まだ4ヶ月足らずですが、自らの日本での生活体験と、流暢な日本語を生かし、ベトナム人実習生の皆さんの「頼れるお姉さん」として、今やアジ研では、なくてはならない存在となっています。

はじめまして。私はハンと申します。来日は2011年で、初めは長野県上田市で留学生として日本語を勉強しました。昨年4月から主人の仕事の関係で栃木県に引っ越してきて、11月からきぼうアジア研修センターで働いています。技能実習生の生活をサポートする仕事は初めてで、まだ慣れないことも、分らないことも多いですが、ベトナムから来日したばかりの実習生の皆さんが、早く日本の生活に慣れて、安心して日本語の勉強ができるように、頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 今月の実習生

今月は、敬虔なインドネシア人イスラム教徒の実習生、KUSRIN (クスリン) さん、ISMU BAIHAQY (バイハキ) さん、AKHMAD HOWI (アホウィ) さんを紹介しします。

3人は、現在、月曜日と木曜日だけ、断食中でお昼休みは寮に帰らずに、誰もいない教室でお祈りを捧げています。現在、本校には、約50名のインドネシア人実習生が入寮中ですが、この時期に断食をしているのはこの3人だけ。よく話を聞いてみると、イスラム教では、月曜日と木曜日に断食をすることで、神様に対する信仰を強めることができ、3人は、ラマダンの期間(今年は6月6日～7月6日)以外に、不定期に週2回(月曜日・木曜日)の断食を行なっているとのこと。教室で神様にお祈りを捧げているところに、同席させてもらい、撮影もさせてもらいましたが、お祈りの時間は約10分間。静まり返った教室の中、真剣な面持ちで、厳かに行なわれるその儀式は、見ている側も心が清められるような思いがしました。お祈りが終わると、清々しい表情で記念撮影に応じてくれました。



向かって左からクスリンさん・バイハキさん・アホウィさん

## あじけん流日本語授授業

～アジアけんしゅうセンターにつき～



作文を音読する実習生



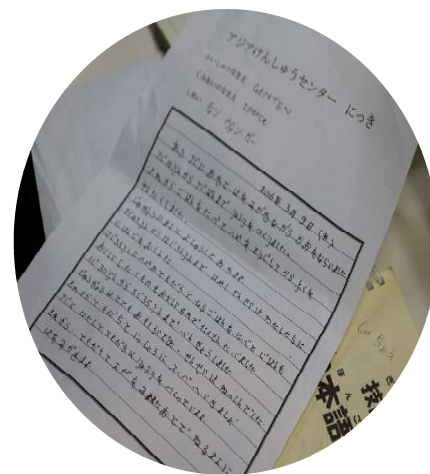
質問に答える実習生

今月のあじけん流日本語授業は、「宿題」の効果的な活用例をご紹介します。本校では、100時間という限られた授業時間内で、より効果的に学習内容を定着させるため、また、授業ではまとまった時間の確保が難しい「書く」指導の不足を補うものとして、様々な形で、積極的に「宿題」を活用しています。今回は、主に週末に出されることが多い日記を活用した宿題「アジアけんしゅうセンターにつき」を紹介させていただきます。主な手順は、以下の通りです。

①寮での作文 ⇒ ②音読練習 ⇒ ③クラスでの音読発表 ⇒ ④質疑応答

上記の手順①②が宿題となります。文章の量や内容に特に制限がないので、所要時間には差があるようですが、音読（最低5回）まで含めて、短い実習生でも30分、長い実習生になると1時間かかります。寮での学習なので音読の回数を厳しくチェックすることは出来ませんが、翌日クラスで音読の発表があるので、どの実習生も必死で音読の練習をします。

③④は、翌日のクラス内での活動になります。③の活動では、前日に準備した宿題の成果を、音読の形で披露します。ここで、講師は、どれだけしっかり宿題に取り組んできたかのチェックも行なえます。④では、実習生同士が、それぞれ発表した日記について、質疑応答を行なうこととなります。この宿題は、「書く」活動に加えて、「読む」「聞く」「話す」技能の練習にも応用出来る統合的な学習課題として、現在積極的に導入が進められています。



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバー  
もご覧になれます